

生まれかわった田

むかしは、田を平らにするのがたいへんむずかしかったので、土地の高さや、川の流れにあわせて田を作りました。そのため田は、大きさがそろわず、土地の^{こうてい}高低もあって、仕事のしにくい形のものでした。

村では昭和39年頃から「^{ほしゅうせいび}圃場整備」をして、仕事のしやすい田を作る計画を立てました。そして、むかしの田んぼは、機械を使って大きな四角形の田に作りかえられました。

今では、村のほとんどの田が、^お圃場整備を終えました。^{ひろひろ}広々とした四角形の大きな田が並び、^{ようすいろ}用水路やトラックの通れる^{のうどう}広い農道も作られ、田の仕事はとてもしやすくなりました。

畑もいっしょに、圃場整備されて、仕事のしやすい畑に生まれかわっているところもあります。



圃場整備前



土地改良工事
(^{あさ}川南部地区)



圃場整備後